

# 脊椎動物における 後肢の位置の多様性を生み出す分子メカニズム

鈴木孝幸 講師

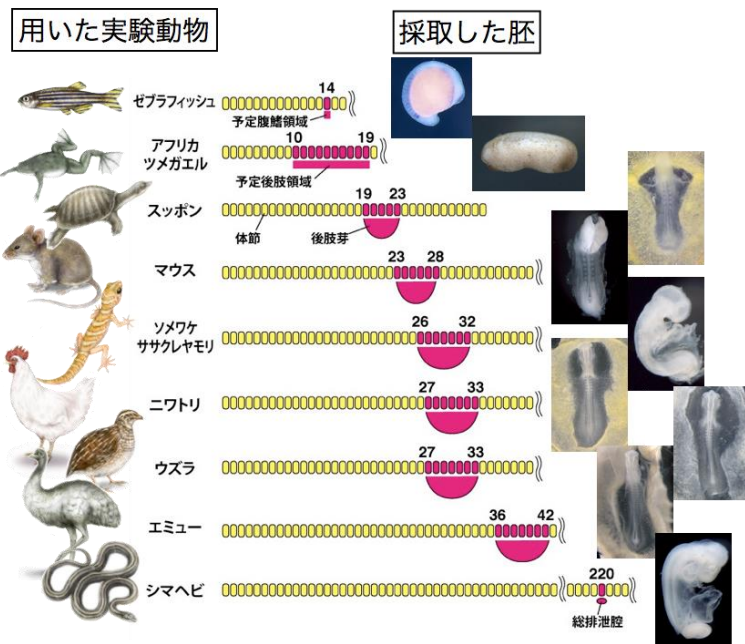
名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻

2017年3月8日(水)

15:00~16:00

藤井節郎記念医科学センター 4階セミナー室

私たちは脊椎動物の骨格の形に興味を持って研究をしています。脊椎動物の骨格パターンの中でも手足が形成される位置は種によって異なっており、それぞれの脊椎動物固有の形態を特徴付ける要因の一つになっています。これまで発生生物学の分野では手足の発生に必要な数多くの遺伝子が同定されてきました。しかし、脊椎動物種間の手足の位置の多様性を生み出すメカニズムについては全く分かっていませんでした。今回私たちは、非モデル動物を含む9種類の脊椎動物(ゼブラフィッシュ、アフリカツメガエル、スッポン、ヤモリ、ウズラ、ニワトリ、マウス、エミュー、シマヘビ)の胚を採取し、後肢(足)の位置の違いが生み出される分子メカニズムを解明しました。本講演では、まずこれら9種類の脊椎動物において後肢の位置決定に関わる普遍的な分子メカニズムを明らかにした後に、後半ではこのメカニズムのどこに多様性を生み出した機構が存在するのか、最新の知見をご紹介します。また本講演の中では、非モデル動物の中でもなかなか採取出来る機会の少ない産卵前のシマヘビ胚についても、効率的な採取の方法と発生ステージ表の作成過程についてもお話ししたいと思います。



位置の違いが生み出される分子メカニズムを解明しました。本講演では、まずこれら9種類の脊椎動物において後肢の位置決定に関わる普遍的な分子メカニズムを明らかにした後に、後半ではこのメカニズムのどこに多様性を生み出した機構が存在するのか、最新の知見をご紹介します。また本講演の中では、非モデル動物の中でもなかなか採取出来る機会の少ない産卵前のシマヘビ胚についても、効率的な採取の方法と発生ステージ表の作成過程についてもお話ししたいと思います。

お問い合わせ先

藤井節郎記念医科学センター・初期発生研究分野

竹本龍也(内線 7915 takemoto.tatsuya@tokushima-u.ac.jp)